

## 国道106号 宮古盛岡横断道路

## 設計・用地調査説明会を開催します

復興支援道路である国道106号 宮古盛岡横断道路（宮古市墓目～腹帯、古田～川井、川井～箱石間）について、道路整備に必要な用地範囲の基となる設計が完了したことから、設計・用地調査説明会を開催します。

## ■宮古市古田～川井、川井～箱石間

- ・開催時期：平成25年 4月22日(月) 午後6時～
- ・会場：宮古市川井生涯学習センター 2階ホール

## ■宮古市墓目～腹帯間

- ・開催時期：平成25年 4月23日(火) 午後6時30分～
- ・会場：宮古市新里福祉センター 2階会議室

- 復興道路（三陸沿岸道路）及び復興支援道路（東北横断道釜石秋田線、宮古盛岡横断道路）については、被災地の早期復興を図るリーディングプロジェクトとして、一日も早い完成に向けて、国と地元自治体が連携を図り、事業のスタートダッシュを図っています。
- 今回の対象区間では、平成24年10月21日と平成24年10月28日に国土交通省・岩手県・宮古市合同の測量等土地立ち入り説明会を開催し、その後、測量・地質調査・道路設計の作業を進めてきました。
- この度の設計・用地調査説明会では、土地所有者とその周辺の皆様に対し、道路の設計内容や必要となる用地範囲、今後実施する用地調査の内容について説明します。これにより、今後の用地取得に向けた大きな第一歩となることが期待されるとともに、平成23年11月に新規事業化された復興道路・復興支援道路の全ての区間で、用地取得に向け、動き出すこととなります。

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会》

## 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 TEL 0193-62-1711(代表)

副所長 戸嶋 守 (内線204)

調査第一課長 成田 信太郎 (内線451)

# 道路ができるまで

## 1 道路の計画

交通量や混雑状況を調査し、地域に必要な道路について計画します。



## 2 計画の説明 (土地立入了解)

計画が決まると関係者に説明を行い協力を求めます。



## 3 路線測量・地盤調査

道路をつくるため必要な資料の収集・調査・図面の作成を行います。



## 4 道路の設計

測量図面や収集した資料をもとに利用しやすい道路や橋等の設計を行います。



## 5 設計の説明

関係する方に道路の設計について説明を行い、設計について了解をいただきます。



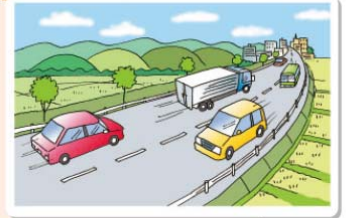
## 6 用地巾杭設置

設計に基づき道路建設に必要な用地の範囲を示す杭を打設します。



## 11 完成(供用)

計画から工事までいろいろな方の協力によって快適な道路ができあがります。



## 10 工事

設計に基づいて道路や橋をつくります。



## 9 工事の説明

工事の方法、期間、交通処理などの説明を行います。



## 8 用地価格の交渉(契約・支払い)

用地調査結果をもとに地権者と価格等について交渉を行い、契約合意を得た後、補償金の支払いを行います。



## 7 用地の調査

道路建設に必要な土地・建物の調査を行い、用地境界確認のため、立合をお願いします。



現段階はここです

# 設計・用地調査説明会 位置図

